

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第47回)

Amazon“役立つ”レビューを見分ける

2019.08.26

Amazonは、年に一度のプライム会員大感謝祭「プライムデー」を2019年7月15～16日に行った。詳しい売上高は発表されていないものの、この2日間で注文された商品は世界で1億7500万点以上、日本でも、過去の「サイバーマンデー」および「プライムデー」と比較し、史上最大規模になったと発表した。

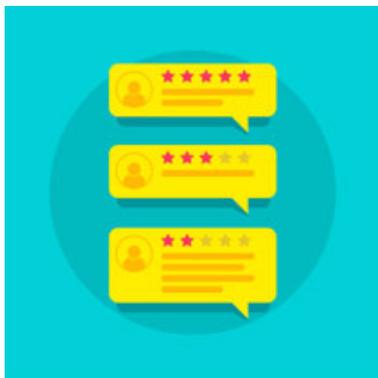
ネット通販は、もはや日常のものといって過言ではない。現物を手に取らないで購入する通販は、当初、抵抗のある人も多かった。ところが今は多くの人が抵抗を感じずに利用している。

通販の魅力は、いつでもどこでもあらゆるショップから物が買えて、購入物は数日で玄関まで届くところだ。筆者のように人や店の少ない地方に住む者にとっては、時間とコストの節約になる。地方では、欲しい物を散々探し回っても「ない」なんて事態も少なくないからだ。

Amazon以外に人気なのは、楽天やYahoo!ショッピングだ。ただし通販に送料は付きもの。Amazonでは年間5000円ほどの会費を払って会員になれば、基本的に送料が無料となり、動画や音楽などさまざまなサービスが利用できる。やはり一番の人気だ。

ただし、現物を手に取れない通販では、届いてから「こんなはずじゃなかった」と後悔する可能性がある。通販で「泣き」を見ない、よりおトクに、より目的に応じた商品を手に入れるにはどうしたらいいのだろうか。

ネット通販で重視するのがレビュー。「ステマ」を見抜け



商品ページにある情報や、メーカーサイトの商品情報だけでは、商品を手にとれないデメリットは埋めにくい。デメリットを埋めるには、商品ページに記された、実際に買ったり使ったりしているユーザーの声、「レビュー」が役に立つ。

筆者も多くの物を通販で入手する。目的に応じた商品をよりおトクに入手するためには、類似の商品の比較などで十分に吟味する。ターゲットの商品は、商品情報やスペックシートに加え、商品ページに書かれたユーザーからのレビューを参考にして選ぶ。やはり実際に購入して使ってみたユーザーの意見は貴重だと思う。

だが、レビューを100%信じてはいけぬ。店側からお金をもらって書く「ステマレビュー」(サクラレビューなどとも呼ばれる)が横行しているからだ。筆者もついこうしたステマレビューを参考にして、商品を買ってしまったことがある。レビューの内容とは似ても似つかぬ品だった。

商品ページにずらりと並ぶレビューの中から本物の情報を見分け、より有効なチョイスを行わなくてはならない。ステマレビューの見分け方を箇条書きにまとめてみた。

ステマレビューの見分け方7つ… 続きを読む